

# 和地ひとみレポート No.208

## 「市民の意識調査」の結果報告書

### 活かすべき意見、注目すべき意識をどう見極め、どう活用するか

#### ■市民意識調査

…今年の2月16日から3月15日にかけて、市は市民意識調査を実施しました。この調査は、平成24年12月に第二次基本構想（改訂）及び第四次基本計画が策定されてから、市民意識を多分野にわたり把握するために実施されているもので、今回は3回目の調査となっています。調査の目的については「市民の皆様の意識や行動、生活環境等についてうかがい、第四次基本計画に基づく行政の取り組みについて評価するとともに、今後のまちづくりに活かす」とされています。

…今回の調査の対象者については、今年の2月1日現在で東大和市に住民登録をされている方2000人を無作為に抽出し、調査票（アンケート用紙）を郵送。最終的な回答者数は761人（前年調査は811人）回収率は38.1%（前年調査は40.6%）という結果になりました。この意識調査の結果は、今後、市のホームページで閲覧可能になりますが、ここでは、結果の概要などをお伝えしたいと思います。（※市のホームページ内で閲覧する場合は「市民意識調査」で検索。現在は、昨年の調査結果報告書が閲覧可能）

#### ■調査内容は

…調査の内容は、回答者の属性（年代、家族構成、職業など）から始まり、東大和市への定住の意向から、家庭廃棄物、公園などの個別の施策など多岐に及んでいます。また、回答については、あらかじめ書かれている項目を選択するほか、自由回答欄も設けられ行われました。

…ちなみに回答者については、前回調査（平成27年2月実施）と比較し、概ね各属性は等しかったようですが、市内居住開始時期は「平成17年～平成26年」以降の方の割合が約3割となり、前回と比べて6.9ポイント増加しているとのこと。市内で新たに住宅が建設されている様子を目にする方も多いと思いますが、実際に東大和市の人口は増加しており、この回答者の東大和市居住期間の変化は現状に即しているといえると思われました。

#### 【調査内容】

- (1) あなた自身のことについて
- (2) 定住意向について
- (3) 東大和市の施策について
- (4) 生活環境について
- (5) 広報公聴及び情報公開について
- (6) 東大和市の行政サービス及び行財政運営の取り組みについて
- (7) 家庭廃棄物について



- (8) 「東大和市ヘルプカード」について
- (9) 医療機関の利用状況について
- (10) 子育て環境について
- (11) 地域活動・地域コミュニティについて
- (12) 市の魅力について
- (13) 公園の利用状況等について
- (14) スポーツ・運動・生涯学習について
- (15) 健康寿命の延伸について

#### ■おおむね、予想どおりの回答

…調査報告書では、各質問に対する回答の割合、また、その年齢別や属性別の結果などが明記されていますが、そのほかに各調査結果についての分析結果も書かれています。分析結果を見て感じた素直な感想は、おおむね、予想通りということ。ぼんやりとでも、課題に感じていることは市民の皆様も課題に感じており、満足度が低いように感じました。

…最初の定住意向についての分析結果は「定住意向については、前回調査と同様、『今の場所に住み続けたい』が6割を超え、年齢層が上がるほどその割合が高くなっている。また、居住開始時期が早いほど、定住意向が高い傾向がみられる。定住を望む理由としては、『家や土地を持っているから』『住み慣れているから』『日常の買い物便利だから』の3つが4割以上と多くなっている。一方、転出を望む理由としては、『通勤・通学に不便だから』『愛着を感じないから』『各種施設が不足しているから』が多く挙げられている。」となっています。この分析結果で行政の努力で改善できる項目は『各種施設の充実』です。この件については他の項目にも関連しているものもあり（医療機関、公園、子育て環境、スポーツなど）それらの結果で満足度が低いことと定住意向がリンクしていることを行政側は大きなポイントと受け止めるべきです。また、回答用紙の選択肢には「子どもを育てやすいから」というものもありました。「日本一子育てしやすいまち」を目標に掲げている市長のもと行政運営をしていることを考えると、この項目が定住意向の理由に挙がらないことは目標達成には、まだ課題は多いことがわかります。（裏面に続く）

## ■子育て環境については

…先に述べたように「日本一子育てしやすいまち」を目標にしている行政にとっては、大きなポイントとなるこの項目の結果分析については「各問いに対し『そう思う』と『ややそう思う』を合わせた「肯定的な意見」は、『自然環境が良い』『治安が良い』『東大和市は「子育てしやすいまち」だと思ふ』の順で多く、充実度が高い。一方、『一時預かり事業が充実している』は最も低い。また、『あまりそう思わない』と『そう思わない』を合わせた「否定的な意見」は、『子どもが遊べる公園が充実している』『産婦人科、小児科、病児保育が充実している』で多くなっている。『東大和市は「子育てしやすいまち」だと思ふ』については「肯定的な意見」が「否定的な意見」を 22.2 ポイント上回り、全般的な子育て環境の充実度は高い結果となっている。また、年齢別、居住地区別、家族(本人を含む)別でみても同様の傾向となっている。市内での更なる出産・育児の希望は『思う』『思わない』のどちらも4割台と拮抗している。」とのこと。この分析で気になるのは肯定的な意見の理由が自然環境と治安の良さという点。もちろん、治安の良さは行政の努力も影響していますが、行政の施策に関連している項目が挙げられていないことは残念です。さらに、分析結果では述べられていませんでしたが、「義務教育が充実している」という項目についての各年代の回答は以下の通りでした。

年代	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
10代	0	25.0	37.5	12.5	25.0	0
20代	3.0	10.6	60.6	15.2	7.6	3.0
30代	2.9	18.1	54.3	16.2	5.7	2.9
40代	1.3	19.3	56.7	11.3	10.0	1.3
50代	3.3	12.3	58.2	13.1	5.7	7.4
60～64	1.4	16.4	64.4	9.6	1.4	6.8
65～	3.5	23.1	48.5	8.7	2.6	13.5

※結果は％ ※10代は18歳～19歳

…学力に課題があることが長年問題とされている東大和市の教育ですが、ここ数年、様々な取り組みの効果がでていたとはいえ、全体、また、特に子育て世代で満足度が低いことについては、今後、担当する教育委員会を中心に詳細を分析すべきです。「義務教育の充実」とは具体的にどのようなことに満足できていないのか、他の自治体との比較なども含め、具体的な課題を掘り下げる必要があると感じました。また、今年度から東大和市も新教育委員会制度を導入しているため、市長も今まで以上に教育との連携を深めています。予算措置で解決できることがあるかどうかなども、検討する必要があると思います。

## ■ほかに気になる分析結果は

…前述のとおり、今回の調査内容は多岐にわたっていますが、分析結果で気になるポイントがいくつかありました。まず、生活環境についての分析では「生活環境の満足度について、『非常に満足』と『満足』を合わせた「満足している」の回答は『水や緑、公園等、自然環境のよさ』『日当たりや風通しのよさ』『日常の買物の便利さ』が、それぞれ6割台と多くなっている。【30～39歳】で前回調査と同様、『児童館、学童保育所、子どもの遊び場の環境や安全』の満足度が最も低くなっている。」というコメントがありました。この分析結果を見ると、東大和市は自然環境を中心に住み心地の良い土地と言えます。一方で、行政の取り組みの部分で向上すべき生活環境があること。そして、ここでも子育て世代からの要望に答えられていないことも伺えます。

…また、東大和市の行政サービス及び行財政運営の取り組みについての分析では「市の職員の窓口対応の満足度は、『非常に満足』と『満足』を合わせた「満足している」が47.5%で、『不満』と『非常に不満』を合わせた「不満を感じている」の10.3%を上回っており、年齢別でみると60歳以上の満足度が高い。市の行財政運営の取り組みに対する評価は、『よく取り組んでいると思う』と『ある程度取り組んでいると思う』を合わせた「高く評価する」が、『やや努力が足りないと思う』と『努力が足りないと思う』を合わせた「低く評価する」をやや上回っている。市が行財政運営を適正に進めるために重要なことは、『市民の意見を取り入れる』、『職員の意識改革を図る』が多く、前回調査に続き、市民も市政へ参画したいという意向がうかがえる。」とのコメントがありました。窓口対応については、年代別でニーズも違うと思います。高齢者と忙しい日常の中で市役所に行っている現役世代とは求めているサービスは違うことを職員が察知し、対応することも重要。また、行政運営を適正に進めるために重要なことについての分析で『市民も市政へ参画したいという意向がうかがえる』というのは、少し現実との乖離を感じました。これは、市民感覚≒民間の感覚を行政にも取り入れるべきという意味ではないでしょうか。せっかくの市民意識調査をまちづくり、行政のレベルアップに活かすためには、分析をきちんとすることがスタート。少し辛口の結果でも、まっすぐ受け止めて分析することが重要です。

## ■可能性を活かし、行政でできることは

…東大和市は自然環境などポテンシャル(可能性としての力)の高い街です。それを最大限に活かすこと。そして、限られた財源をどこに充当するか、財源がなくても人の(職員の)努力でできることは何か。市民意識調査で浮き彫りになった課題の中から、行政で解決できる課題を分析し、具体的な施策に大いに活用していくべきだと感じました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」  
【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しよう』とベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『「人を活かす」経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102